

特長

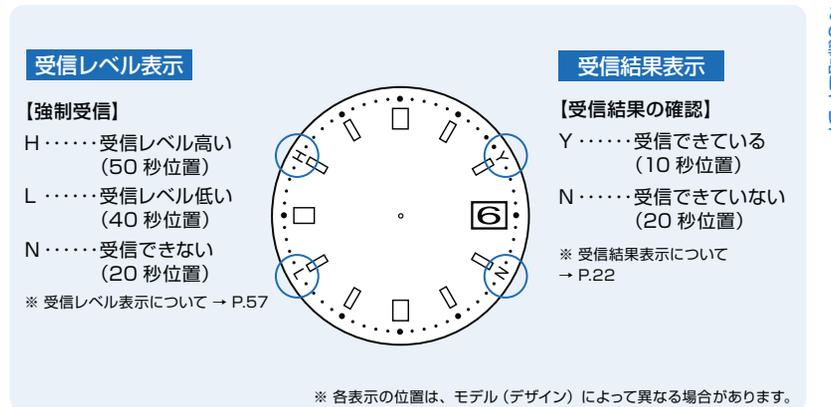
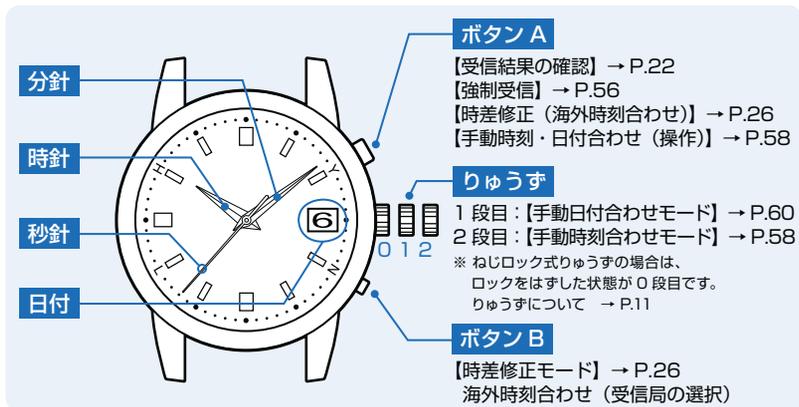
この時計はソーラー駆動の電波修正ウォッチです。

- ・ソーラーパネルで受けた光を「電気エネルギー」に換え、時計を動かしています。
- ・時刻情報をのせた電波を受信することにより、正しい時刻を表示します。
- ・日本、中国、アメリカの電波を受信することができます。

- 電波受信機能 …………… 毎日、自動的に電波を受信し、正しい時刻と日付に合わせます。手で強制的に電波を受信させることもできます。日本(2局)と中国、アメリカの電波を受信することができます。(時差修正機能で受信局を選択します。) → P.14~P.21
- 受信レベル表示機能 ……… 電波の受信中に、秒針が受信状況を表示します。 → P.57
- 受信結果表示機能 …………… 秒針で、電波の受信結果(成否)を表示します。 → P.22

- 時差修正機能 …………… 時差を設定すると、海外の現地時刻を表示します。(受信局選択) → P.24~P.29
また、時差を設定することで、電波が受信できる地域ではその地域の電波が受信できるようになります。
- ソーラー充電機能 …………… 文字板の下にあるソーラーセルで、光を電気エネルギーに換え、充電します。フル充電で約6ヶ月間動きつづけます。 → P.30~P.31
- エネルギー切れ予告機能 …… 充電が必要なことを秒針の動きで知らせてくれます。 → P.32
- パワーセーブ機能 …………… 光があたらない状態が続いたときに、無駄なエネルギーの消費を抑える機能です。 → P.33
- 針位置自動修正機能 ……… 磁気などの外部影響で針がずれた場合に、自動的にずれを直します。 → P.62

各部の名称と主なはたらき



ボタン A・B について

デザイン性の向上や誤操作の防止のため、指で簡単に押すことのできないものがあります。ボタンの押しかたについては以下を確認してください。



■ ボタン A、B を同時に押すとき

上図でボタンの押しかたを確認してから押してください。ボタンBを先に押し、押しのまま離さずにボタンAを押すと、うまく押すことができます。

・ボタン A、B の両方にへこみがあるとき

時計が動かないように、右図のようにおさえながら、先が細いものでボタンAを押してください。

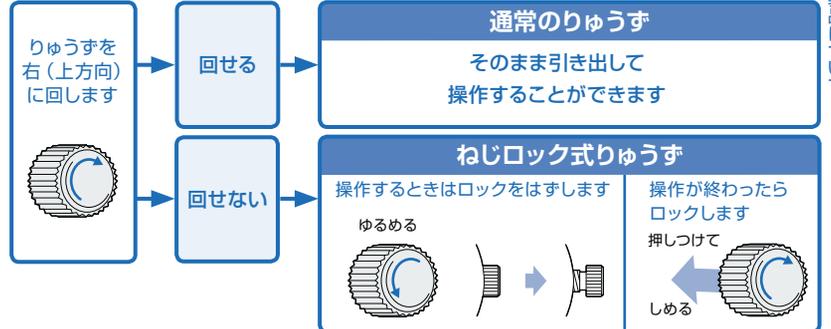
・ボタン A はへこみがなく、ボタン B はへこみがあるとき

ボタン A は指で、ボタン B は先が細いものでボタンを押してください。



りゅうずについて

りゅうずには、通常のものと同様の構造のもの、2つのタイプがあります。お使いの時計のりゅうずをご確認ください。

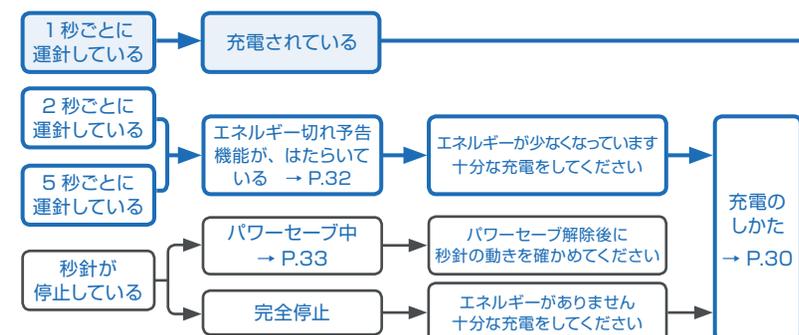


※ ねじロック式りゅうずは、ロックすることで、誤操作の防止と防水性の向上をはかることができます。
※ ねじロック式りゅうずは、ねじを無理にしめるとねじ部をこわす恐れがありますので、ご注意ください。

ご使用前に

① エネルギー残量を確認する

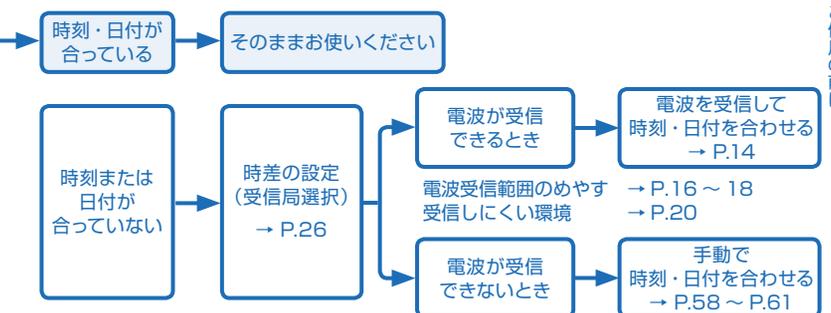
秒針の動きを確認して、エネルギーが不足しているときは充電をしてください。



※ 十分な充電後に1秒運針にならないとき → こんなときは「充電」 P.70

② 時刻・日付を確認する

※ この時計は、りゅうずを回しても針が動きません。時刻を修正するときは、下記のページを参照ください。

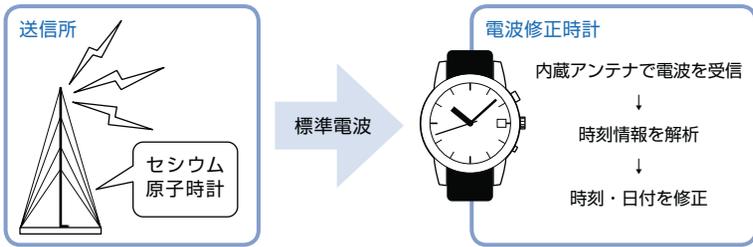


※ 受信に成功しても時刻・日付が合わないとき → こんなときは: 時刻、針のずれ P.72、日付のずれ P.74

電波を受信して時刻・日付を合わせる

■ 電波受信のしくみ

正確な時刻情報をのせた標準電波を受信して、正しい時刻や日付を表示します。



標準電波の時刻情報は、およそ10万年に1秒の誤差という超高精度を保つ「セシウム原子時計」によるものです。

■ 自動受信と強制受信

この時計は、決まった時間に自動的に電波を受信して、時刻・日付を合わせます。



- ・自動受信
午前2時と午前3時、午前4時に行われます。
※自動受信に成功した時点で、以降の時刻では自動受信を行いません。

受信のときは時計を、電波を受信しやすい場所に置き、動かさないようにします。

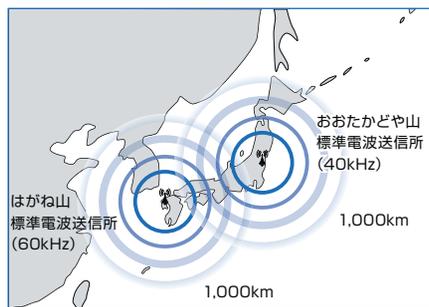
- ・強制受信
受信しにくい環境などで、自動受信ができないときは、いつでも任意に電波を受信させることができます。
→強制受信のしかた P.56～P.57

- ※時差が、受信範囲以外の地域に設定されていると、電波の受信はできません。時差の設定を確認してください。→時差を設定する(受信局を選択する) P.26～P.27
- ※受信の成否は受信環境によって左右されます。→受信しにくい環境 P.20
- ※受信範囲の外では電波の受信はできません。→電波受信範囲のめやす P.16～P.18
- ※受信に成功しても時刻・日付が合わないとき →こんなときは:時刻、針のずれ P.72、日付のずれ P.74

受信環境について

■ 受信範囲のめやす

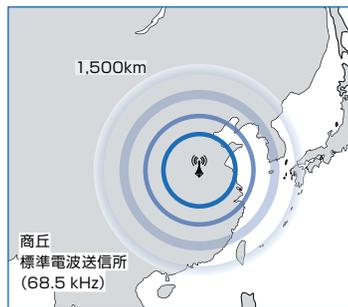
送信所からの受信範囲のめやすは、約1,000kmです。(各送信所を中心に半径1,000km)



NICT(情報通信研究機構)により運用されています。
福島:おおかたどや山 標準電波送信所
周波数:40kHz
九州:はがね山 標準電波送信所
周波数:60kHz
※NICT:National Institute of Information and Communications Technology
※受信範囲のめやす内でも、条件(天候・地形・建造物・方角などの影響)により、受信できない場合があります。
→受信しにくい環境 P.20

■ 受信範囲のめやす:中国(BPC)

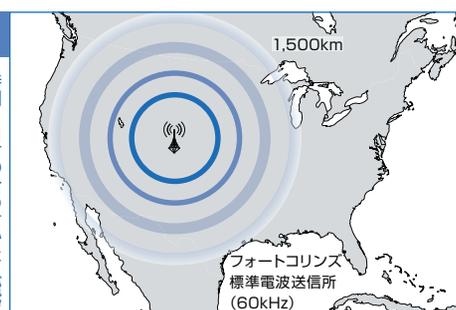
送信所からの受信範囲のめやすは、約1,500kmです。(送信所を中心に半径1,500km)



NTSC(中国科学院 国家授時中心)により運用されています。
河南省 商丘市
商丘 標準電波送信所
周波数:68.5kHz
※NTSC:National Time Service Center
※1,500kmを超えた範囲でも、条件が良ければ、受信できる場合があります。
※受信範囲のめやす内でも、条件(天候・地形・建造物・方角などの影響)により、受信できない場合があります。
→受信しにくい環境 P.20

■ 受信範囲のめやす:アメリカ(WWVB)

送信所からの受信範囲のめやすは、約1,500kmです。(送信所を中心に半径1,500km) 範囲内には4つのタイムゾーンがあります。



NIST(米国標準技術局)により運用されています。
コロラド州デンバー近郊
フォートコリンズ標準電波送信所
周波数:60kHz
※NIST:National Institute of Standards and Technology
※1,500kmを超えた範囲でも、条件が良ければ、受信できる場合があります。
※受信範囲のめやす内でも、条件(天候・地形・建造物・方角などの影響)により、受信できない場合があります。
→受信しにくい環境 P.20

■ 受信しやすくするために



受信のときは、窓際などの電波を受信しやすい場所に置いてください。

安定した状態で電波を受信するために、受信中は時計の向きを変えたり、傾けたりなどせずに、静止した状態にしてください。

※静止していない状態では電波の受信はできません。

■ 受信しにくい環境

- ・テレビ、冷蔵庫、エアコンなど家庭電化製品の近く
- ・携帯電話、パソコン、FAXなどOA機器の近く
- ・スチール機などの金属製の家具の上や近く
- ・工事現場、交通量の多い場所など、電波障害の起こるところ
- ・高圧線やテレビ塔、電車の架線の近く
- ・ビルの中、ビルの谷間や地下
- ・乗り物の中(自動車、電車、飛行機など)

受信のときは、このような場所を避けてください。

▲注意

- ・電波障害などにより誤った受信をしたときは、誤った時刻を表示する場合があります。また、受信場所・電波状況によっては受信できないことがあります。このようなときは、受信を行なう場所を変えてください。
- ・電波が受信できない場合でもクォーツの精度(平均月差±15秒)で動いています。
- ・設備のメンテナンスや落雷の影響などにより停波(電波停止)することがあります。停波に関する情報は、各送信所のホームページをご覧ください。弊社お客様相談窓口にお問い合わせください。
- ・各送信所のホームページアドレス(2007年11月現在)
日本:情報通信研究機構(日本標準時プロジェクト) <http://jij.nict.go.jp/>
中国:NTSC <http://www.ntsc.ac.cn>
アメリカ:NIST <http://www.boulder.nist.gov/timefreq/stations/wwvb.htm>

受信ができていないか確認する

■ 受信結果表示について

最後に受信した結果（成否）を5秒間表示します。

① ボタンAを1回押して離す



② 秒針が受信結果を示す



※ 5秒経過、または途中でボタンAを押すと、時刻表示に戻ります。

受信結果が Y になったときは

- 受信ができています。そのままお使いください。
※ 受信に成功しても時刻・日付が合わないとき → こんなのは: 時刻、針のずれ P.72、日付のずれ P.74

受信結果が N になったときは

- 時計を置く場所や向きを変えてみましょう
受信範囲のめやす内でも、条件（天候・地形・建造物・方角などの影響）により、受信できない場合があります。→ 受信しにくい環境 P.20
また、受信範囲の外では電波の受信はできません。→ 電波受信範囲のめやす P.16 ~ P.18
- 違う時間帯に受信させてみましょう（強制受信の場合）
同じ場所でも時間帯によって受信環境は異なります。電波の特性により、夜間のほうがより受信しやすくなります。
- 受信できていても、手で時刻を合わせると受信結果がリセットされて N になります
※ りゅうずを2段引くと手動時刻合わせのモードに入るため、時刻を修正しなくても受信結果がリセットされます。
- 電波を受信しない場合は、クォーツ時計としてお使いいただけます
※ 精度は平均月差±15秒です。

時刻・日付の合わせかた（電波受信）

時刻・日付の合わせかた（電波受信）

時差修正機能とは

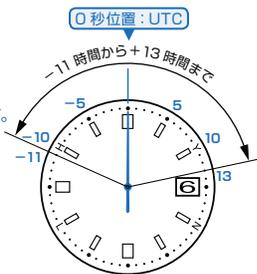
■ 時差修正機能の特長

- 1時間単位で、海外の時刻に合わせることができます。
世界のほとんどの地域は、1時間単位の時差になっています。UTC（協定世界時）を基準にして、時差を設定します。UTCからみた世界各地の時差は【-11時間から+13時間】です。

- 時差を設定すると、自動で目的地の時刻を表示します。
時差修正機能のモードでは、秒針の位置が時差を表わします。秒針をめやすにボタンを操作して、時差を設定しましょう。

- 時差の設定により、電波の受信局を選択します。
日本で使うときは【9秒位置: 東京（日本）】に設定すると、日本の電波を受信します。中国で使うときは【8秒位置: 香港（中国）】に設定します。受信可能地域以外に時差を設定すると、電波受信の機能ははたらきません。

- 時差を設定する P.26 ~ P.27
- 世界の主な地域の時差一覧 P.28



時差修正機能（受信局の選択）

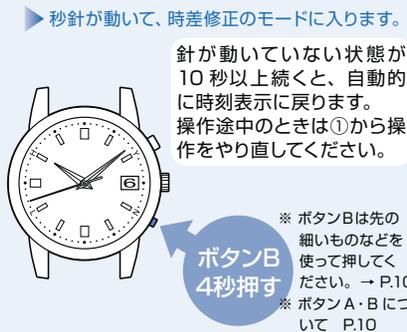
時差修正機能（受信局の選択）

■ 時差修正機能 Q&A

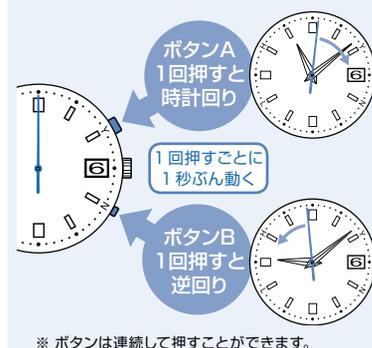
- Q: 海外から日本に戻ってきたときは、自動的に日本の時刻になりますか?
A: 移動しただけでは日本の時刻になりません。日本で使う時は「時差修正機能」で日本時間に設定してください。
- Q: 時差修正の操作をしている間は針が止まっているので、時刻がずれてしまうのではないですか?
A: 内部の回路が時刻を記憶していますので、時刻がずれることはありません。
- Q: 受信範囲ではない地域に時差を設定していると、電波を受信しませんが、その間の時計の精度はどうなっていますか?
A: その場合は、通常のクォーツ時計としてお使いいただけます。（平均月差±15秒）
- Q: 15分、30分単位の時差がある地域の時刻に合わせるにはどうすればいいですか?
A: 「時差修正機能」を使うと1時間単位で合わせることができます。15分、30分単位の地域に合わせる際には「手動時刻合わせ」の機能をお使いください。
→ 手動時刻合わせのしかた P.58 ~ P.59

時差を設定する（受信局を選択する）

① 秒針が移動するまで ボタンBを押す（4秒）



② ボタンを押して秒針を動かし時差を設定する



時差を設定することで、電波の受信局を切り替えます。受信可能地域以外では、電波受信の機能ははたらきません。

- ▶ 秒針を動かして、時差を設定します。秒針の1秒ぶんが、時差の1時間ぶんです。



針が動いていない状態が10秒以上続くと自動的に時刻表示に戻ります。操作途中のときは①から操作をやり直してください。

③ 自動的にモードが終了

- ▶ 時分針の動きが止まると、10秒後に時差修正モードが終了します。

日付が変わる場合は、その後で日付が動きます。
※ 日付が動いている間は、ボタン・りゅうずの操作はできません。

時差修正機能（受信局の選択）

時差修正機能（受信局の選択）

世界の主な地域の時差一覧

受信電波欄に記載のないタイムゾーンに時差を設定すると、電波受信の機能ははたらきません。

時差設定 秒針位置	UTCからの 時差	タイムゾーン 代表都市名	受信電波	時差設定 秒針位置	UTCからの 時差	タイムゾーン 代表都市名	受信電波
0秒	±0時間	★ロンドン/UTC	-	0秒	±0時間	★ロンドン/UTC	-
1秒	+1時間	★パリ/ベルリン	-	59秒	-1時間	★アゾレス諸島	-
2秒	+2時間	★カイロ	-	58秒	-2時間	(リオデジャネイロのDST)	-
3秒	+3時間	ジッダ	-	57秒	-3時間	★リオデジャネイロ	-
4秒	+4時間	ドバイ	-	56秒	-4時間	★サンティアゴ	WWVB△
5秒	+5時間	カラチ	-	55秒	-5時間	★ニューヨーク	WWVB
6秒	+6時間	ダッカ	-	54秒	-6時間	★シカゴ	WWVB
7秒	+7時間	バンコク	-	53秒	-7時間	★デンバー	WWVB
8秒	+8時間	香港（中国）	BPC	52秒	-8時間	★ロサンゼルス	WWVB
9秒	+9時間	東京（日本）	JJY	51秒	-9時間	★アンカレッジ	-
10秒	+10時間	★シドニー	JJY△	50秒	-10時間	ホルルル	-
11秒	+11時間	ヌーメア	-	49秒	-11時間	ミッドウェー島	-
12秒	+12時間	★ウェリントン	-				
13秒	+13時間	(ウェリントンのDST)	-				

★印の地域ではサマータイムが導入されています。（07/11月現在）

受信電波欄に△のついたタイムゾーンは、受信可能な地域のサマータイムで使用します。

世界各地には【協定世界時（UTC）】を基準にした時刻の差、【時差】があります。世界各地は1時間ごとの時差を持つ24の地域【タイムゾーン】に分けられており、地球1周で24時間となるようにして国際的に運用されています。また、地域によっては個別に【サマータイム（DST）】が設定されています。

協定世界時（UTC）: Coordinated Universal Time = コーディネイテッドユニバーサルタイム
UTCは国際協定により決められた世界共通の標準時です。
全世界で時刻を記録する際に公式な時刻として使われています。
天文学的に決められる世界時（GMT: グリニッジ標準時）に、うるう秒を加えてずれの無いように調整されたものです。

サマータイム（DST）: Daylight Saving Time = デイライトセービングタイム
夏時間のことです。
夏の日照時間の長いときに、時刻を1時間進めて昼間の時間を長くする制度です。
欧米を中心に世界の約80ヶ国で実施されています。
サマータイムの実施期間や実施地域は国によって様々です。

- ※ 各地域の時差、およびサマータイムは、国または地域の都合により変更される場合があります。
- ※ ごく一部の地域では15分、30分単位で時差が設定されている場合があります。（インドなど）
- ※ 各表示はモデル（デザイン）によって異なる場合があります。（2014年4月現在）

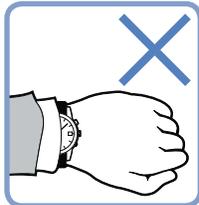
時差修正機能（受信局の選択）

時差修正機能（受信局の選択）

充電について

■ 充電のしかた

文字板に光をあてて充電してください。



快適にご使用いただくために、十分な充電をすることを心がけましょう。

時計を身につけているときに服の袖などで隠れてしまう場合、光のあたりにくい環境での継続的な使用や保管などが続く場合は、充電不足による電池切れが起こる可能性が高くなります。

- ※ 充電の際は、時計が高温にならないようにご注意ください。(作動温度範囲は-10℃~+60℃です。)
- ※ 使いはじめ、または充電不足で停止していた時計を駆動させるときは、右ページの表をめやすに十分な充電を心がけてください。

■ 充電にかかる時間のめやす

下記の時間をめやすに、充電を行ってください。

照度 lx (ルクス)	光源	環境 (めやす)	フル充電まで	確実に1秒運針 になるまで★	1日ぶん 動かすには
500	白熱球	60W 60cm	-	-	5時間
700	蛍光灯	一般オフィス内	-	-	3時間
1000	蛍光灯	30W 70cm	-	120時間	2時間
3000	蛍光灯	30W 20cm	90時間	30時間	30分
5000	蛍光灯	30W 12cm	70時間	24時間	24分
1万	蛍光灯	30W 5cm	25時間	8時間	9分
	太陽光	くもり			
10万	太陽光	快晴(夏の直射日光下)	8時間	2時間	3分

- ★ この数値は、止まっていた時計に光をあて【確実に1秒運針になるまで】に必要な、充電所要時間のめやすです。この時間まで充電しなくても1秒運針になりますが、その状態ですぐに【2秒運針】になる場合があります。この時間をめやすに充電してください。
- ※ 充電に必要な時間は、モデルによって若干異なります。
- ※ 運針について エネルギー残量を確認する → P.12

エネルギーについて

■ エネルギー切れ予告機能について

エネルギー残量が少なくなると、エネルギー切れ予告機能がはたらきます。

まず、秒針が2秒ごとに動く【2秒運針】になり、さらに充電がされない状態が続くと、秒針が5秒ごとに動く【5秒運針】になります。その後、エネルギーが切れると時計が停止します。エネルギー切れ予告機能がはたらいたときは、十分な充電をしてください。

- 充電のしかた…………… P.30
- 充電にかかる時間のめやす…………… P.31
- パワーセーブ機能について…………… 右ページ

- ※ エネルギー切れ予告機能がはたらいているときは、ボタン・りゅうずを操作しても作動しません。(故障ではありませんので、ご安心ください。)
- ※ 5秒運針中は、時針・分針・日付ともに停止しています。
- ※ 5秒運針中は、自動受信の機能がはたらきません。十分な充電後に1秒ごとの運針に戻りましたら、電波を受信して正確な時刻に合わせましょう。(電波を受信して時刻を合わせる → P.15)

■ パワーセーブ機能について

光があたらない状態が続くと、パワーセーブ(節電)機能がはたらきます。

	パワーセーブ1	パワーセーブ2
条件	光があたらない状態が72時間以上続いた	充電不足の状態が長く続いた
状況	秒針が15秒の位置で停止し、時分針も停止	秒針が45秒の位置で停止し、時分針も停止 自動受信を行わない
対処のしかた	5秒以上光にあてると、針が早送りされて現在時刻に戻ります	十分な充電後、必要に応じて時刻を合わせてください

- パワーセーブ2について
- ※ 充電をした場合、充電中は【5秒運針】になります。【5秒運針】の間はボタン・りゅうずとも操作できません。
- ※ 長時間続くと、エネルギー残量の低下により、内部で記憶されていた現在時刻の情報が失われます。十分な充電後に1秒ごとの運針に戻ったら、電波を受信して時刻を合わせてください。(電波を受信して時刻を合わせる → P.15)

ご注意いただきたいこと

■ お手入れについて

・日ごろからこまめにお手入れしてください

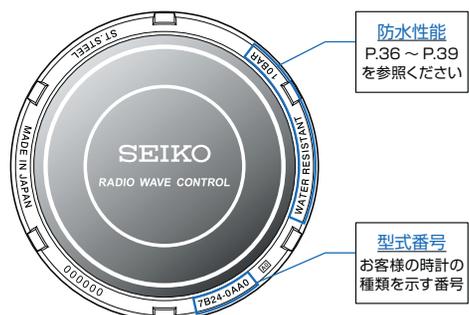
- 水分や汗、汚れはこまめに柔らかい布でふき取るように心がけてください。すきま(金属バンド、りゅうずまわり、裏ぶたまわりなど)の汚れは、柔らかい歯ブラシが有効です。
- 海水に浸けた後は、必ず真水でよく洗ってからふき取ってください。その際、直接蛇口から水をかけることは避け、容器に水をためるなどしてから洗ってください。

・りゅうずは時々回してください

- りゅうずの錆び付きを防止するために、時々りゅうずを回してください。
- ねじロック式りゅうずの場合も同様です。りゅうずについて → P.11

■ 性能と型式について

時計の裏ぶたでも性能と型式の確認ができます。



防水性能
P.36~P.39
を参照ください

型式番号
お客様の時計の
種類を示す番号

※上の図は例であり、お買い上げいただいた時計とは異なる場合があります。

防水性能について

お買い上げいただいた時計の防水性能を下記の表でご確認の上ご使用ください。
(「P.35」をご覧ください)

裏ぶた表示	防水性能	お取扱方法
表示なし	非防水です。	水滴がかかったり、汗を多くかく場合には、使用しないで下さい。
WATER RESISTANT	日常生活用防水です。	日常生活での「水がかかる」程度の環境であれば使用できます。 警告 水泳には使用しないで下さい。
WATER RESISTANT 5 BAR	日常生活用強化防水で5気圧防水です。	水泳などのスポーツに使用できます。
WATER RESISTANT 10(20) BAR	日常生活用強化防水で10(20)気圧防水です。	空気ボンベを使用しないスキューバダイビングに使用できます。

警告



この時計はスキューバダイビングや飽和潜水には絶対に使用しないでください

BAR (気圧) 表示防水時計はスキューバダイビングや飽和潜水用の時計に必要な苛酷な環境を想定した様々な厳しい検査を行っていません。専用のダイバーズウォッチをご使用ください。

注意

※ 万一、ガラス内面にくもりや水滴が発生し、長時間消えない場合は防水不良です。お早めにお買い上げ店・弊社お客様相談窓口(巻末に記載)にご相談ください。



水分のついたまま、りゅうずやボタンを操作しないでください

時計内部に水分が入ることがあります。

注意



水や汗、汚れが付着したままにしておくのは避けてください

防水時計でもガラスの接着面・パッキンの劣化や、ステンレスが錆びることにより、防水不良になる恐れがあります。



入浴やサウナの際はご使用を避けてください

蒸気や石けん、温泉の成分などが防水性能の劣化を早めてしまうからです。



直接蛇口から水をかけることは避けてください

水道水は非常に水圧が高く、日常生活用強化防水の時計でも防水不良になる恐れがあります。

耐磁性能について (磁気の影響)

アナログクォーツ時計は、身近にある磁気の影響を受け、時刻が狂ったり止まったりします。

※この時計は、磁気により時刻が狂っても、「針位置自動修正機能」によって自動的に針位置を修正します。(P.62参照)

裏ぶた表示	お取扱方法
表示なし	磁気製品より10cm以上遠ざける必要があります。
	磁気製品より5cm以上遠ざける必要があります。(JIS水準1種)
	磁気製品より1cm以上遠ざける必要があります。(JIS水準2種)

時計に影響を及ぼす身の周りの磁気製品例



携帯電話(スピーカー部)

磁気健康バンド



バッグ(磁石の止め金)

磁気ネックレス



交流電気かみそり

磁気健康マット



携帯ラジオ(スピーカー部)

磁気健康枕

電磁調理器

など

アナログクォーツ時計が磁気の影響を受ける理由

内蔵されているモーターは磁石を使用しており、外からの強い磁力で互いに影響し合い、モーターを止めたり、無理に回転させてしまうためです。

バンドについて

バンドは直接肌に触れ、汗やほこりで汚れます。そのため、手入れが悪いとバンドが早く傷んだり、肌のかぶれ・そで口の汚れなどの原因になります。長くお使いになるためには、こまめなお手入れが必要です。

・金属バンド

- ・ステンレスバンドも水や汗・汚れをそのままにしておくと、さびやすくなります。
- ・手入れが悪いと、かぶれやワイシャツのそで口が黄色や金色に汚れる原因になります。
- ・水や汗・汚れは、早めに柔らかな布でふき取ってください。
- ・バンドのすき間の汚れは、水で洗い、柔らかな歯ブラシなどで取り除いてください。(時計本体は水にぬれないように、台所用ラップなどで保護しておきましょう。)
- ・チタンバンドでもピン類に強度に優れたステンレスが使用されているものがあり、ステンレスからさびが発生することがあります。
- ・さびが進行すると、ピンの飛び出しや抜けが発生し、時計を脱落させてしまうことがあります。また、逆に中留が外れなくなることがあります。
- ・万が一ピンが飛び出している場合は、怪我をする恐れがありますのでただちに使用をやめて修理をご依頼ください。

・皮革バンド

- ・水や汗、直射日光には弱く、色落ちや劣化の原因になります。
- ・水がかかったときや汗をかいた後は、すぐに乾いた布などで、吸い取るように軽くふいてください。
- ・直接日光にあたる場所には放置しないでください。
- ・色の薄いバンドは、汚れが目立ちやすいので、ご使用の際はご注意ください。
- ・時計本体が日常生活用強化防水(10気圧防水)になっているものでも、アクアフリーバンド以外の皮革バンドは、入浴中や水泳・水仕事などでの使用はお控えください。

・ポリウレタンバンド

- ・光で色があせたり、溶剤や空気中の湿気などにより劣化する性質があります。
- ・特に半透明や白色・淡い色のバンドは、他の色を吸着しやすく、また変色をおこします。
- ・汚れたら水で洗い、乾いた布でよくふき取ってください。(時計本体は水にぬれないように、台所用ラップなどで保護しておきましょう。)
- ・弾力性がなくなり、ひび割れを生じたら取り替え時期です。

かぶれやアレルギーについて	バンドによるかぶれは、金属や皮革が原因となるアレルギー反応や、汚れ、もしくはバンドとのすれなどの不快感が原因となる場合など、いろいろな発生原因があります。
バンドサイズのめやすについて	バンドは多少余裕をもたせ、通気性をよくしてご使用ください。時計をつけた状態で、指一本入る程度が適当です。

■ 特殊な中留(なかどめ)の使いかた

皮革バンド、およびメタルバンドの一部に、特殊な中留を用いたものがあります。お買い上げの時計の中留が、下記のいずれかにあてはまる場合は、それぞれの操作方法をご参照ください。

A 三つ折れ中留(皮革バンド専用) → P.45

B ワンプッシュ三つ折れ中留(皮革バンド・メタルバンド) → P.46

C レザーバンド用三つ折れ中留(皮革バンド専用) → P.48

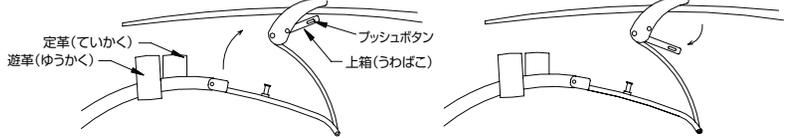
A 三つ折れ中留の使いかた(皮革バンド専用)

- 1 バンドを定革、遊革から抜いて、中留を開きます。
 - 2 上箱の底板を下に開きます。
 - 3 ピンをアジャスト穴から外します。バンドを左右にスライドさせ、適切な長さのところで、ピンをアジャスト穴にもう一度入れます。
 - 4 底板を閉めます。
※ 底板を押しこみ過ぎないようにしてください。
-
- ※ 中留を装着するときはバンドの剣先(先端)を定・遊革に入れてから、中留をしっかり留めてください。

B ワンプッシュ三つ折れ中留の使いかた (皮革バンド・メタルバンド)

・バンドの長さを調節するには

- ① プッシュボタンを両側から押しながら、バンドを定革・遊革から抜いて、中留を開きます。
- ② もう一度プッシュボタンを押し、上箱を下に開きます。

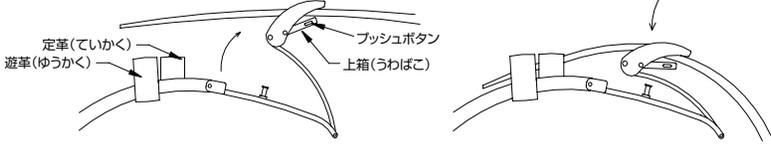


- ③ ピンをアジャスト穴から外します。バンドを左右にスライドさせ、適切な長さのところで、ピンをアジャスト穴に入れます。
- ④ プッシュボタンを押しながら、上箱を閉めます。



・着脱のしかた

- ① プッシュボタンを両側から押しながら、バンドを定革・遊革から抜いて、中留を開きます。
- ② バンドの剣先を定革・遊革に入れてから、上箱を上からしっかり押さえて留めます。



※メタルバンドの場合は定革がないものがございます。

ご注意ください

ご注意ください

C レザーバンド用三つ折れ中留の使いかた (皮革バンド専用)

■ ルミブライトについて

お買い上げの時計がルミブライト付きの場合

ルミブライトは、放射能などの有害物質をまったく含んでいない環境・人に安全な蓄光 (蓄えた光を放出する) 物質です。太陽光や照明のあかりを短時間 (約 10 分間: 500 ルクス以上) で吸収して蓄え、暗い中で長時間 (約 3 時間~5 時間) 光を放つ夜光です。なお、蓄えた光を発光させていますので、輝度 (明るさ) は時間が経つにしたがって、だんだん弱まっていきます。また、光を蓄える際のまわりの明るさや、時計との距離、光の吸収度合いにより、光を放つ時間には多少の誤差が生じることがあります。

環境	明るさ (照度) のめやす
太陽光	晴れ 100,000 ルクス
	くもり 10,000 ルクス
屋内 (昼間窓際)	晴れ 3,000 ルクス以上
	くもり 1,000 ~ 3,000 ルクス
照明 (白色蛍光灯 40W の下で)	雨 1,000 ルクス以下
	1m 1,000 ルクス
	3m 500 ルクス (通常室内レベル)
	4m 250 ルクス

- ① プッシュボタンを押しながら、中留を開きます。
- ② ピンをアジャスト穴から外します。バンドを左右にスライドさせ、適切な長さのところで、ピンをアジャスト穴に入れます。プッシュボタンを押しながら、中留をしっかり押さえて留めます。



ご注意ください

ご注意ください

■ 電源について

・使用している電源について

・過充電防止機能

フル充電までの所要時間を超えて充電しても、時計が破損することはありません。二次電池がフル充電になると、それ以上充電されないように、自動的に過充電防止機能がはたらきます。

※フル充電までの所要時間については「充電にかかる時間のめやす P.31」を参照ください。

この時計には、一般の電池とは異なる専用の二次電池を使用しており、一般の酸化銀電池のように定期的な交換の必要はありません。

ただし、二次電池は長い期間、充放電をくり返すことにより、持続時間がわずかながら短くなる可能性があります。(使用状態や保管場所の環境などによって異なります) 専用の二次電池は、環境に対して影響の少ないクリーンなものです。



■ 充電時のご注意

- ・充電の際、撮影用ライト、スポットライト、白熱ライト (球) などに、近づけすぎると、時計が高温になり内部の部品等が損傷を受ける恐れがありますのでご注意ください。
- ・太陽光にて充電する際も、車のダッシュボード等では、かなりの高温となりますので、ご注意ください。
- ・時計が 60℃ 以上にならないようにしてください。



■ 二次電池交換時のご注意

- ・二次電池を交換する際は、この時計専用の二次電池をご使用ください。
- ・一般の酸化銀電池が組み込まれると、破裂、発熱、発火などの恐れがありますので、ご注意ください。
- ・万が一、この時計専用の二次電池以外のものが組み込まれても、導通が取れない構造となっています。

■ 保証について

保証は、保証書に明示した期間・条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。これによりお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証書は日本国内のみ有効です。

取扱説明書にそった正常なご使用により、お買い上げ後 1 年以内に不具合が生じた場合には、下記の保証規定によって無料で修理・調整いたします。

・保証の対象部分

時計本体 (ムーブメント・ケース) および金属バンド

・保証の適用除外

保証期間内あるいは保証対象部分であっても、次のような場合は有料になります。

- ・皮革・ウレタン・布などのバンドの交換
- ・事故または不適切な取り扱いによって生じた故障および損傷
- ・使用中に生じるキズ・汚れなど
- ・火災・水害・地震などの天変地変による故障および損傷
- ・保証書記載項目のすべてが記入された保証書のみが有効です。故意に字句を書き替えた場合は、規定の無料修理は受けられません。

・保証を受ける手続き

- ・保証対象の不具合が生じた場合は、時計と別紙保証書をご持参の上、お買い上げ店にご依頼ください。
- ・お買い上げ店の保証が受けられない場合には、「セイコーウオッチ株式会社 お客様相談窓口」に保証書を添えてご依頼ください。

・その他

- ・修理の際に、ムーブメントを交換させていただいたり、ムーブメント・ケース・文字板・針・ガラス・りゅうず・ボタン・バンドなどに外観の異なる代替部品を使用させていただくことがありますので、ご了承ください。(使用部品の保有期間は通常 7 年を基準としています。)
- ・金属バンドなどの調整は、お買い上げ店、または弊社お客様相談窓口にご依頼ください。上記以外の販売店で調整は有料になります。

ご注意ください

ご注意ください

■ アフターサービスについて

・補修用性能部品について

- ・この時計の補修用性能部品の保有期間は通常7年を基準としています。補修用性能部品とは、時計の機能を維持するために必要な修理用部品です。
- ・修理の際、外観の異なる代替部品を使用させていただくことがありますので、あらかじめご了承ください。

・分解掃除による点検調整（オーバーホール）について

- ・長くご愛用いただくために、3年～4年に1度程度の分解掃除による点検調整（オーバーホール）をおすすめします。ご使用状況によっては、機械の保油状態が損なわれたり、油の汚れなどによって部品が磨耗し、止まりにいたることがあります。また、パッキンなどの部品の劣化が進み、汗や水分の浸入などで防水性能が損なわれる場合があります。分解掃除による点検調整（オーバーホール）を、お買い上げ店にご依頼ください。
- ・部品交換の際は、「純正部品」とご指定ください。
- ・分解掃除による点検調整（オーバーホール）の際には、あわせてパッキンやバネ棒の交換をご依頼ください。

・保証と修理について

- ・修理や分解掃除による点検調整（オーバーホール）の際は、お買い上げ店、または弊社お客様相談窓口にご依頼ください。
- ・保証期間内の場合、必ず保証書を添えてください。
- ・保証内容は保証書に記載したとおりです。保証書をよくお読みいただき、大切に保管してください。

ご注意ください

ご注意ください

54

55

強制受信のしかた（手動で電波を受信する）

① 時計を置く

- ▶ 時計を電波を受信しやすい場所に置きます。



→ 受信しやすくするために P.19

② 秒針が0秒位置に移動するまでボタンAを押す（4秒）

- ▶ 秒針が移動して、0秒位置に停止してから受信がはじまります。



※ 時差を受信可能地域以外に選択している場合、強制受信はできません。（秒針が0位置に移動しません。）時差の設定を確認してください。→ 時差を設定する P.26～P.27

③ 受信中は、時計を動かさずに待つ

※ 受信中は時計を静止させていないと、電波の受信はできません。

電波の状況により
最長12分かかります

- ▶ 約1分後より、秒針が受信レベルを示します。

受信中の表示

受信レベル 高い：H 50秒位置	受信レベル 低い：L 40秒位置
------------------------	------------------------

1分ごとに秒針が動いて、受信レベルを更新します。
※ 秒針の動きにともない、分針が1分ずつ動きます。

※ 環境によっては電波が受信しにくいことがあります。→ 受信しにくい環境 P.20
※ 受信範囲の外では、受信はできません。→ 電波受信範囲のめやす P.16～P.18
※ 受信できないときは → 受信結果がNになったときは P.23

④ 受信が終わると受信した時刻を表示する

- ▶ 受信ができているか確認してみましょう。→ P.22
- ※ 日付が動いている間はボタン・りゅうずの操作はできません。

受信できないとき

受信レベル できない：N 20秒位置

5秒後に、時刻表示に戻ります。

困ったときは

困ったときは

56

57

電波の受信ができないとき

■ 手動時刻合わせのしかた

電波の受信範囲外（海外）などの電波が受信できない環境で、継続的に使用する場合は、手動で時刻を合わせることができます。

※ 電波が受信できない場合でも、通常のクォーツ時計の精度（平均月差±15秒）で動いています。

- ・時刻を合わせると、日付が連動して修正されます。
- ・手動時刻合わせの後で電波を受信したときは、受信した時刻を表示します。再び受信可能な地域でお使いいただく際は、【強制受信】をしていただくことをおすすめします。→ 強制受信のしかた P.56～P.57

① りゅうずを2段引く

- ▶ 秒針が0秒位置に移動し、手動時刻合わせのモードに入ります。



※ 手動時刻合わせモードに入ると、電波受信結果のデータが失われるため、受信結果を確認しても「N」と表示されます。

② ボタンAを押して時刻を合わせる

1分送り	1回押して離す
連続送り	2秒以上押し続けると動き出しもう一度押すと止まる



※ 日付が変わるところが午前0時（午後12時）です。午前・午後にご注意して時刻を合わせてください。

③ りゅうずを押し戻す

- ▶ 操作は完了です。時計が動きはじめます。



りゅうずを戻すと時計が動きはじめます。時報などに合わせて、りゅうずを戻しましょう。

困ったときは

困ったときは

58

59

■ 手動日付合わせのしかた

電波の受信範囲外（海外）などの電波が受信できない環境で、自動で日付が変わらない場合（小の月から大の月が変わる際など）は、手動で日付を合わせてお使いください。

- ・日付は、時刻に関係なく単独で合わせることができます。
- ・手動日付合わせの後で電波を受信したときは、受信した日付を表示します。
- ・再び受信可能な地域でお使いいただく際は、【強制受信】をしていただくことをおすすめします。→ 強制受信のしかた P.56～P.57

※ 電波の受信に成功しても日付が合わないときは、日付の基準位置がずれていると考えられます。日付の基準位置を合わせる → P.64

① りゅうずを1段引く

- ▶ 手動日付合わせのモードに入ります。（時計は動いたままです。）



② ボタンAを押して日付を合わせる

1日送り	1回押して離す
連続送り	2秒以上押し続けると動き出しもう一度押すと止まる



※ 日付を進めて合わせます。逆に戻すことはできません。

③ りゅうずを押し戻す

- ▶ 操作は完了です。



困ったときは

困ったときは

60

61

基準位置について

時差の設定が合っている状態で、電波の受信に成功しても時刻・日付が合わないときは、基準位置がずれていることが考えられます。

電波時計は自動で時刻を合わせますが、そのときに基準となる針の位置がずれると、電波を受信しても正しい時刻を表示することができません。【基準となる針の位置がずれてしまう】状態とは、体重計に例えると「メーターのゼロ位置が合っていないために、正しい体重が表示できない」ということです。

・基準位置合わせが必要なとき

電波の受信に成功しても日付が合わない場合、またシステムリセットを行ったときは、日付の基準位置を合わせる必要があります。
→ 基準位置の合わせかた P.64

・自動的に針の基準位置を合わせる機能（針位置自動修正機能）

時分秒針には、基準位置がずれたときに自動的に修正する「針位置自動修正機能」があります。針位置自動修正機能がはたらくのは、秒針は1分に1回、時分針は午前・午後12時です。

※ 時分針の基準位置は手動でも修正することができます。 → P.66

日付の基準位置は自動では修正されないため、手動で合わせる必要があります。

※ その他の事由で時刻・日付が合わないとき → こんなときは：時刻、針のずれ P.72、日付のずれ P.74

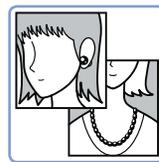
（時刻・日付がずれるときは）

- ・強い衝撃を受けたとき：落とす、強くぶつけるなどの衝撃によってずれることがあります。
- ・磁気の影響を受けたとき：磁気を発するものに近づけることでずれることがあります。

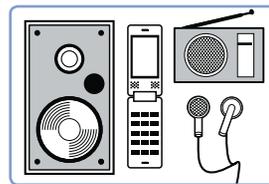
■身のまわりある磁気を発するもの



・マグネットクリップ



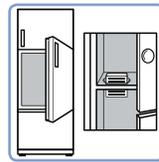
・磁石を使ったアクセサリ



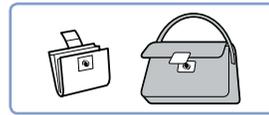
・オーディオ機器、ラジオ、イヤホン、携帯電話などのスピーカー



・磁気治療器（シップ、寝具、腰痛バンドなど）



・冷蔵庫や家具のドアのマグネット



・バッグや財布の留め金

基準位置の合わせかた

■日付の基準位置を合わせる

日付の基準位置は「1日」です。

基準位置の日付がずれていると、電波を受信しても、正しい日付が表示できません。

基準位置の日付を「1日」に合わせることで、日付の遅れ・進みが修正されます。

日付の数字が窓の中心からずれている場合も、この操作で修正することができます。

日付と時分針の基準位置を両方合わせるときは、②の後に、P.67の②の操作を行うことができます。

① 秒針が13秒位置に停止するまでボタンA・Bを同時に押す（4秒）

▶ 日付が動き出し、基準位置で止まります。

- ▶ 同時に4秒押す
- ※ りゅうずは引き出さないでください。
- ※ ボタンA・Bの押しかたはP.10を参照してください。
- ※ ボタンBを先に押し、押したまま離さずにボタンAを押すと、うまく押すことができます。

- ・日付が動いている間は、ボタン操作はできません。
- ・日付が停止した後、操作がなく、日付・針が動いていない状態が10秒以上続くと、自動的に時刻表示に戻ります。
- ・操作途中のときは①から操作をやり直してください。

② ボタンBを押して、日付を「1日」にする

▶ 基準位置を正しい日付に合わせます。「1」の数字が、窓の中心になるように合わせてください。



連続送り	2秒以上押し続けると動き出し、もう一度押すと止まる
微調整	断続的に押すと少しずつ進む

※ 日付を進めて合わせます。逆に戻すことはできません。

③ 自動的にモードが終了

▶ 日付の動きが止まると、10秒後に基準位置修正モードが終了します。

時刻表示の状態に戻ったら、日付が合っているか確認してください。

日付が合っていない場合は、日付を合わせてください。

電波を受信して日付を合わせる強制受信のしかた → P.56

電波の受信ができないとき手動で日付合わせのしかた → P.60

■手動で時分針の基準位置を合わせる

自動で基準位置を合わせるときは、操作をする必要はありません。

→ 針位置自動修正機能 P.62

手動で時分針の基準位置を合わせるときは、この操作を行ってください。

日付と時分針の基準位置を両方合わせるときは、P.65の②の後に続けて、②の操作を行うことができます。

① 秒針が13秒位置に停止するまでボタンA・Bを同時に押す（4秒）

▶ 日付の基準位置合わせモードに入ります。

- ▶ 同時に4秒押す
- ※ りゅうずは引き出さないでください。
- ※ ボタンA・Bの押しかたはP.10を参照してください。
- ※ ボタンBを先に押し、押したまま離さずにボタンAを押すと、うまく押すことができます。

- ・日付が動いている間は、ボタン操作はできません。
- ・日付が停止した後、操作がなく、日付・針が動いていない状態が10秒以上続くと、自動的に時刻表示に戻ります。
- ・操作途中のときは①から操作をやり直してください。

② 日付の動きが止まったら、秒針が0秒位置に停止するまでボタンAを押す（2秒）

▶ 時分針の基準位置合わせモードに入ります。



- ・日付が動いている間は、ボタン操作はできません。
- ・日付が停止した後、操作がなく、日付・針が動いていない状態が10秒以上続くと、自動的に時刻表示に戻ります。
- ・操作途中のときは①から操作をやり直してください。

③ ボタンBを1回押す

▶ 自動的に、時分針の基準位置が修正されます。時分針が動き、すべての針が0秒位置で停止します。



針の動きが止まり、10秒経つと、自動的に時刻表示に戻ります。

こんなときは

こんなときは	考えられる原因	このようにしてください	参照ページ
針の動き	秒針が2秒ごとに運針している	エネルギー切れ予告機能がはたらいている (P.32)	P.30
	秒針が5秒ごとに運針している	毎日身につけていて、この現象が起こる場合は、携帯中に時計が衣類の袖の中などに隠れているなど、十分に光があたっていないことが考えられます。	
	秒針が15秒位置で停止している状態から動きだした	パワーセーブ機能がはたらいていた (P.33) 光があたらない状態が続いた場合、無駄なエネルギーの消費を抑えるパワーセーブ機能がはたらきます。	-
	秒針が45秒位置で停止している状態から動きだした	パワーセーブ機能がはたらいていた (P.33) 光があたらない状態が続いた場合、無駄なエネルギーの消費を抑えるパワーセーブ機能がはたらきます。	P.30 P.15
	ボタン操作をしていないのに針が早送りされ、その後は普通に運針している	パワーセーブ機能がはたらいていた (P.33) 針位置自動修正機能がはたらいた (P.62) 外部からの影響などで針がずれた場合には、針位置自動修正機能がはたらいて自動的に針のずれを直します。	-

こんなときは		考えられる原因	このようにしてください	参照ページ
電波受信	受信できない 受信結果表示が「N (受信できていない)」になる	受信中に時計を動かした。	受信中は時計を動かさないようにしてください。 静止した状態でないと、電波の受信はできません。	P.19
		受信しにくい環境にある。(P.20)	受信しやすい環境に時計を置きなおして受信をしてください。	P.19
		標準電波送信所の都合で電波を止めている。(停波)	停波に関する情報は、送信所を運営する機関のホームページを参照ください。 時間を置いて受信してみましょう。	P.21
		受信可能地域以外に、時差が設定されている。 (受信局の選択が間違っている)	① 時差の設定 (受信局の選択) を確認し、正しく設定してください。 ② その後、時刻が合っていない場合は、必要に応じて電波を受信してください。	P.26 P.15
充電	止まっていた時計を「フル充電までの所要時間」を超えて充電しても1秒運針にならない	あてる光が弱い。 充電中に光のあたりかたが変わった。	光のあたりかたが変わらないように配慮して、十分な明るさのある環境で充電してください。	P.30
		時計内部のシステムが不安定になっている。	「万が一、異常な動きになったとき」を参照し、操作をしてください。	P.76

こんなときは		考えられる原因	このようにしてください	参照ページ
時刻、針のずれ	時計が一時的に進む、または遅れる	外部からの影響で間違った時刻を受信した。(誤受信)	① より受信しやすい環境で受信するようにしてください。 ② 必要に応じて強制受信をしてください。	P.19 P.56
		時計を暑いところ、または寒いところに放置した。	① 常温に戻れば元の精度に戻ります。 ② その後、時刻が合っていない場合は、必要に応じて強制受信をしてください。 ③ 元に戻らない場合は、お買い上げ店にご相談ください。	- P.56 -
	分・秒は合っているが、時刻が1時間単位でずれている	時差の設定が合っていない。	時差の設定を確認し、正しく設定してください。	P.26
	受信に成功したのに時刻がずれている	外部からの影響で針の位置がずれている。 針の基準位置がずれている。 → 基準位置について P.62	① 針位置自動修正機能がはたらいて、自動的に修正されます。何もせずそのままお使いください。針位置自動修正機能がはたらくのは、秒針は1分に1回、時分針は午前・午後12時です。 お急ぎの場合は、時分針を手動で修正してください。	P.62
	「受信結果表示」や「受信レベル表示」で秒針の位置がずれている	秒針の基準位置がずれている。(外部からの影響などにより秒針の位置がずれているときに起こります。) → 基準位置について P.62	② 針のずれが修正されない場合は、「万が一、異常な動きになったとき」を参照し、操作をしてください。 ③ ②の操作を行っても、針のずれが修正されない場合は、お買い上げ店にご相談ください。	P.76 -

こんなときは		考えられる原因	このようにしてください	参照ページ
日付のずれ	受信成功後、時刻は合っているが日付が合っていない	日付の基準位置がずれている。 外部からの影響やシステムリセットなどにより、日付の基準位置がずれているときに起こります。	日付の基準位置を正しい位置、「1日」にしてください。	P.62
操作	ボタン、りゅうずが機能しない (操作しても動かない)	エネルギー残量が少なくなっている。 設定の操作直後で、日付が動いている途中である。	秒針が1秒ごとに運針するまで、十分な充電をしてください。 何もせず、そのままお待ちください。 日付の動きが止まれば操作できるようになります。	P.76 -
	設定中に操作がわからなくなった	-----	① りゅうずが引き出されている場合は、りゅうずを戻してください。 ② しばらく放置すると通常運針に戻ります。 ③ その後で、改めて設定をやりなおしてみましょう。	-
その他	ガラスのくもりが消えない	パッキンの劣化などにより時計内部に水が入った。	お買い上げ店にご相談ください。	-

※ 記載以外の現象はお買い上げ店にご相談ください。

万が一、異常な動きになったとき

万が一、異常な動きになったとき、または十分な充電を行っても1秒運針にならないときは、①～⑥の操作を行うことで正常に機能するようになります。

■ システムリセットをする (①～③)

① りゅうずを2段引くと秒針が0秒位置で停止



② ボタンA・Bを同時に4秒押し、離す

▶ 離して5秒後に、秒針が1回転し、0秒位置に停止します。その後、時分針が0秒位置に向かって動きはじめます。



■ 日付の基準位置を合わせる (④～⑥)

③ すべての針が0秒位置に揃ったら、りゅうずを戻す

▶ 0時0分0秒から秒針が動きます。



※ 0時0分0秒から時計が動き出さない場合は、システムリセットが作動していません。②から操作をやり直してください。

④ 秒針が13秒位置に停止するまでボタンA・Bを同時に押す(4秒)

▶ 日付の基準位置を合わせモードに入ります。



・ このモードに入った後、操作をしない状態が10秒以上続くと、自動的にモードが解除されます。
・ 操作途中のときは④から操作をやり直してください。

⑤ ボタン B を押して、日付を「1日」にする

▶ 「1」の数字が、窓の中心になるように合わせてください。



ボタン B

連続送り	2秒以上押し続けると動き出し、もう一度押しと止まる
微調整	断続的に押しと少しずつ進む

⑤の操作が終わると、10秒後に、基準位置合わせモードが終了します。

■ 時差を設定する (⑥~⑦)

⑥ 秒針が 0 秒位置に移動するまで、ボタン B を押す (4 秒)

▶ 時差設定のモードに入ります。

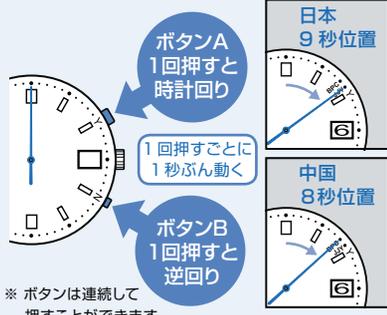


ボタン B 4秒押す

秒針が移動した後、操作がなく、針が動いていない状態が 10 秒以上続くと、自動的に時刻表示に戻ります。操作途中のときは⑥から操作をやり直してください。

⑦ ボタンを押して、秒針を動かし時差を設定する (受信局選択)

▶ 時計をお使いになる地域に、時差を合わせてください。



ボタン A 1回押すと時計回り
1回押すごとに1秒ぶん動く

ボタン B 1回押すと逆回り

日本 9秒位置

中国 8秒位置

※ ボタンは連続して押すことができます。
その他の地域：世界の主な地域の時差一覧 → P.28

⑦の操作の後、時分針の動きが止まると、10秒後に、時差修正モードが終了します。

⑧ 時刻を合わせる

電波を受信して時刻を合わせる
強制受信のしかた → P.56

電波の受信ができないとき
手動時刻合わせのしかた → P.58

時刻を合わせたら操作は終了です。

製品仕様

1. 水晶振動数…… 32,768Hz (Hz = 1 秒間の振動数)
2. 精度 …… 平均月差 ± 15 秒 (電波受信による時刻修正が行われない場合、かつ気温 5℃~35℃において腕に着けた場合)
3. 作動温度範囲… - 10℃~+ 60℃
4. 駆動方式 …… ステップモーター式 (時・分針、秒針、日付)
5. 使用電源 …… 二次電池：1 個
6. 持続時間 …… 約 6 ヶ月 (フル充電でパワーセーブが作動しない場合)
※ フル充電をした状態から、パワーセーブが作動した場合は最大約 1.5 年
7. 電波受信機能… 自動受信 (午前 2 時、午前 3 時、午前 4 時)
※ 受信状況によって異なる
※ 受信から次の受信までは上記クォーツの精度で動く
※ 強制受信機能付
8. 電子回路 …… 発振、分周、駆動、受信回路：IC 3 個

※ 上記の製品仕様は改良のため、予告なく変更することがあります。